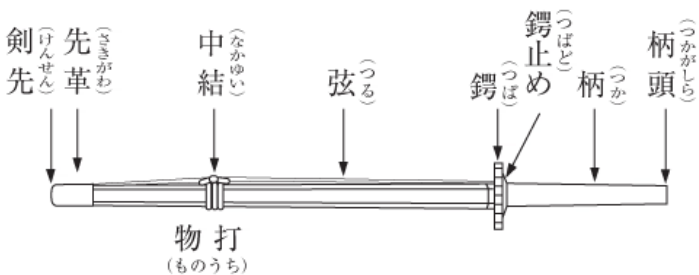


竹刀検量の方法

【竹刀の各部の名称】



(1) 目的

活動中の竹刀破損による重大事故が発生しており、破損した竹刀を使用させないこと、使用中に破損することも想定し、常日頃から、点検整備を習慣化する必要性が求められる。

また、試合における公平性の観点からも検量を行っている。

(2) 竹刀検量の内容

- ① 竹刀の長さ ② 竹刀の重さ ③ 竹刀の太さ ④ 竹刀の構造

(3) 具体的検量内容

① 竹刀の長さについて

□ 114 cm以下であること(男女共通)

② 竹刀の重さについて

□ 男子440 g以上 □ 女子400 g以上 であること

③ 竹刀の太さについて

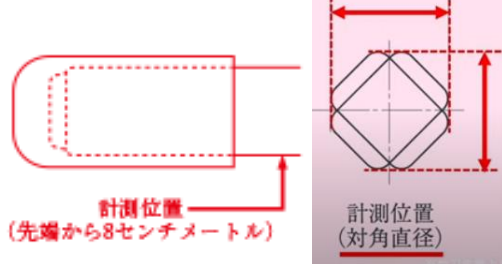
<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上

A



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



B

□ 先革の長さ 5 cm以上

□ 先革先端部の太さ(A) 男子25 mm以上 女子24 mm以上 * 対辺直径を測定

□ ちくとうの最小直径値の太さ(B) 男子20 mm以上 女子19 mm以上

表1 竹刀の基準 (一刀の場合)

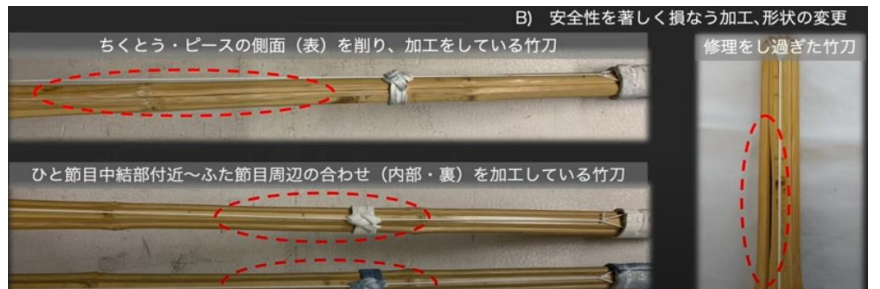
	対象	中学生	高校生 (相当年齢の者も含む)	大学生・一般
長さ	男女共通	114センチメートル以下	117センチメートル以下	120センチメートル以下
重さ	男性	440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上
	女性	400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上

④ 竹刀の構造 目視でのチェック項目

A：ささくれ、破損がないか確認
ビニールテープ等を巻く行為は禁止



B：安全性を著しく損なう加工、形状の変更がないか確認(内部の構造や状態を竹の間から覗き込むようにして確認)



C：先革、中結、弦等付属品の安全性の確認

- 先芯：大きいものの使用により、ちくとうにすき間がないかの確認※先芯は竹刀の先端につける先ゴムのこと
- 先革：劣化、ほつれはないか確認、先革が回らないこと(ゆるさの確認)
- 中結：位置が全長の約4分の1であること 手で回しても中結が回らないこと(ゆるさの確認)
- 弦：ゆるみがないか確認
- 柄革：劣化や縫い目のほつれはないか確認



D：ちくとう部に安全性を損なう不自然なすき間や大きなすき間がないか確認



E：竹刀のちくとう計測部位からひと節目、中結部付近、ふた節目の順で対辺及び対角値が太くなっていく形状で、十分な太さがあるか

※順通りの太くなっていない竹刀は禁止

